

CASBEE\_Sapporo2014v1.0  
 クリーンリバーフィネス桑園フロント

■使用評価マニュアル: CASBEE\_Sapporo2014v1.0  
 ■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.1)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		重点評価項目: W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	重点評価項目			環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数		
	W	G	S							
<b>Q 建築物の環境品質</b>										
<b>Q1 室内環境</b>										
<b>1 音環境</b>										
1.1 騒音					2.0	0.15	2.1	1.00		2.0
1.2 遮音					1.0	0.50	1.0	0.50		
1 開口部遮音性能				AW+PWでT-2以上相当の建具を使用している。	3.0	0.50	3.2	0.50		
2 界壁遮音性能					3.0	1.00	5.0	0.30		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					-	-	3.0	0.30		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					-	-	2.0	0.20		
1.3 吸音					-	-	2.0	0.20		
<b>2 温熱環境</b>										
2.1 室温制御					1.0	0.35	5.0	1.00		4.2
1 室温					1.0	1.00	5.0	1.00		
2 外皮性能	W			日本住宅性能評示基準の省エネルギー対策等級4を満たしている。	-	-	-	-		
3 ソーン別制御性					1.0	1.00	5.0	1.00		
2.2 湿度制御					-	-	-	-		
2.3 空調方式					-	-	-	-		
<b>3 光・視環境</b>										
3.1 昼光利用					2.2	0.25	3.8	1.00		3.5
1 昼光率					3.6	0.30	4.6	0.50		
2 方位別開口				開口部を大きくし、昼光を確保している。 南、東の両面に窓を設けている。	4.0	0.60	5.0	0.50		
3 昼光利用設備	W				3.0	0.40	3.0	0.20		
3.2 グレア対策					1.0	0.30	3.0	0.50		
1 昼光制御	W				1.0	1.00	3.0	1.00		
3.3 照度					1.0	0.15	-	-		
3.4 照明制御					3.0	0.25	-	-		
<b>4 空気質環境</b>										
4.1 発生源対策					3.0	0.25	3.1	1.00		3.1
1 化学汚染物質					3.0	0.60	3.0	0.63		
2 発塵対策					3.0	1.00	3.0	1.00		
4.2 換気					3.0	0.40	3.3	0.38		
1 換気量					3.0	0.50	3.0	0.33		
2 自然換気性能				開口部を大きくして、開閉可能な窓を十分確保している。	-	-	4.0	0.33		
3 取り入れ外気への配慮					3.0	0.50	3.0	0.33		
4.3 運用管理					-	-	-	-		
1 CO <sub>2</sub> の監視					-	-	-	-		
2 喫煙の制御					-	-	-	-		
<b>Q2 サービス性能</b>										
<b>1 機能性</b>										
1.1 機能性・使いやすさ					3.3	0.40	3.8	1.00		3.7
1 広さ・収納性					3.0	0.40	4.0	0.60		
2 高度情報通信設備対応				各住戸に100Mbpsの光ファイバー回線を整備している。	-	-	4.0	1.00		
3 バリアフリー計画					3.0	1.00	-	-		
1.2 心理性・快適性					4.0	0.30	3.5	0.40		
1 広さ感・景観					-	-	3.0	0.50		
2 リフレッシュスペース					-	-	-	-		
3 内装計画				建物コンセプトに基づき、パース、モックアップ等で事前検証している。	4.0	1.00	4.0	0.50		
1.3 維持管理					3.0	0.30	-	-		
1 維持管理に配慮した設計					3.0	0.50	-	-		
2 維持管理用機能の確保					3.0	0.50	-	-		
3 維持管理業務					-	-	-	-		
<b>2 耐用性・信頼性</b>										
2.1 耐震・免震					2.9	0.30	-	-		2.9
1 耐震性					3.0	0.50	-	-		
2 免震・制振性能					3.0	0.80	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数					3.0	0.20	-	-		
1 躯体材料の耐用年数				日本住宅性能評示基準の劣化対策等級3を満たしている。	3.0	0.30	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	W				5.0	0.20	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	W				2.0	0.20	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	W				3.0	0.10	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	W				3.0	0.10	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔	W				3.0	0.20	-	-		
2.4 信頼性					2.6	0.20	-	-		
1 空調・換気設備					3.0	0.20	-	-		
2 給排水・衛生設備					3.0	0.20	-	-		
3 電気設備					3.0	0.20	-	-		
4 機械・配管支持方法					1.0	0.20	-	-		
5 通信・情報設備					3.0	0.20	-	-		
<b>3 対応性・更新性</b>										
3.1 空間のゆとり					2.8	0.30	3.3	1.00		3.2
1 階高のゆとり				階高2900mm以上。	-	-	3.6	0.50		
2 空間の形状・自由さ					-	-	4.0	0.60		
3.2 荷重のゆとり					-	-	3.0	0.40		
3.3 設備の更新性					2.8	1.00	-	-		
1 空調配管の更新性					3.0	0.20	-	-		
2 給排水管の更新性					2.0	0.20	-	-		
3 電気配線の更新性					3.0	0.10	-	-		
4 通信配線の更新性					3.0	0.10	-	-		
5 設備機器の更新性					3.0	0.20	-	-		
6 バックアップスペースの確保					3.0	0.20	-	-		

CASBEE\_Sapporo2014v1.0  
 クリーンリバーフィネス桑園フロント

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE\_Sapporo2014v1.0  
 ■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.1)

スコアシート		実施設計段階			重点評価項目: W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 電処理				
配慮項目	重点評価項目			建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体	
	W	G	S	評価点	重み係数	評価点	重み係数		
<b>環境配慮設計の概要記入欄</b>									
Q3 室外環境(敷地内)					-	0.30	-	-	2.9
1 生物環境の保全と創出		G			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮		G			4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮					2.5	0.30	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			S		2.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上	W	G			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性					-	-	-	-	3.6
LR1 エネルギー					-	0.40	-	-	4.4
1 建物外皮の熱負荷抑制	W				5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用	W				3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化					5.0	0.50	-	-	5.0
集合住宅以外の評価(3a,3b)	W								
集合住宅の評価(3c)	W				5.0	1.00	-	-	
4 効率的運用					3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価									
4.1 モニタリング	W				3.0	-	-	-	
4.2 運用管理体制	W				3.0	-	-	-	
集合住宅の評価					3.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング	W				3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制	W				3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル					-	0.30	-	-	2.9
1 水資源保護					3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水					4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用					3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無					3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無					3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減					2.6	0.60	-	-	2.6
2.1 材料使用量の削減	W				2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用	W				3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	W				3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	W				1.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材	W				2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	W				4.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避					3.4	0.20	-	-	3.4
3.1 有害物質を含まない材料の使用					3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避					3.6	0.70	-	-	
1 消火剤	W				4.0	0.33	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)	W				4.0	0.33	-	-	
3 冷媒	W				3.0	0.33	-	-	
LR3 敷地外環境					-	0.30	-	-	3.2
1 地球温暖化への配慮					4.2	0.33	-	-	4.2
2 地域環境への配慮					2.0	0.33	-	-	2.0
2.1 大気汚染防止	W				3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善	W	G	S		1.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制					3.2	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減	W				3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制					3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制					4.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制	W		S		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮					3.3	0.33	-	-	3.3
3.1 騒音・振動・悪臭の防止					3.0	0.40	-	-	
1 騒音					3.0	1.00	-	-	
2 振動					-	-	-	-	
3 悪臭					-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制					3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制					3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制					3.0	-	-	-	
3 日照阻害の抑制					3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制					4.7	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策					5.0	0.70	-	-	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策					4.0	0.30	-	-	